

# サルコイドーシス組織病変における病理学的解析

## 1. 研究の対象

平成 12 年（2000 年）4 月より平成 28 年（2016 年）3 月の間で、皮膚サルコイドーシス、環状肉芽腫・LMDF（顔面播種状粟粒性狼瘡）・酒さ・結節性紅斑などで皮膚組織検査を受けられた方。

## 2. 研究目的・方法

この研究では、外来からの抗原刺激による生体免疫応答で形成される全身性肉芽腫の原因菌を特定することで、菌に対する治療に結びつけることを目的としています。この疾患の一部の組織では既に *P. acnes*（アクネ菌）が高率に存在することが研究論文として証明されていますので、他の病変部位においても検出することが、サルコイドーシスの原因菌であることの確証に結びつきます。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

サルコイドーシス疑いで生検や手術を受けた患者さんの検体（組織）を対象に、他の炎症性疾患で手術を受けた患者さんの検体（組織）が対照となります。どちらも臨床診断や病理診断に基付いて決められ、病理診断が終了したパラフィン包埋ブロック組織検体から 3 $\mu$ m を 5 枚使用しての研究です。

それぞれサルコイドーシス 15 症例、他の皮膚炎症例 35 症例を予定しております。この検体から薄い組織をガラスに切り出して標本として、*P. acnes*（アクネ菌）と反応する抗体試薬による免疫組織化学染色により組織標本として菌の存在を判定します。

病変の部位、発生までの期間、採血データ（ACE 値など）と一緒に検討を行います。

## 4. 外部への試料・情報の提供

この研究は、東京医科歯科大学大学院人体病理学分野と循環器内科・呼吸器内科・神経内科・皮膚科・眼科ならびに防衛医科大学校病院皮膚科との共同で遂行されます。

## 5. 研究組織

東京医科歯科大学 江石 義信

都立駒込病院 三浦 義治

関西医科大学 岡本 祐之

福島県立医科大学 山本 俊幸

防衛医科大学校 佐藤 貴浩、宗次 太吉

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

分担研究者 埼玉県所沢市並木 3-2 防衛医科大学校皮膚科 宗次 太吉

電話：04-2995-1211 （対応可能時間 平日 9：00～17：00）

研究責任者： 防衛医科大学校皮膚科講座 佐藤 貴浩

研究代表者： 東京医科歯科大学皮膚科講座 江石 義信